

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

企画総務

町田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

委員 今後、見直しをする予定はあるのか。
担当者 不規則勤務者業務手当について、廃止をする提案を行ったものです。しかし、その他の手当についても、特殊勤務手当の必要性、特殊性、そして危険性等の見直しを行

いながら、その内容について、しっかりと精査を行う必要があると認識をしています。必要があれば、条例の改正も行って考えています。

総合コールセンター開設準備委託料

委員 事業者に委託することについて、あらかじめ、市民に周知する予定はないのか。市民よりの問い合わせの中で、体制整備がされていないと、現場で困るのではないのか。

担当者 委託という業務形態は、明示をして、事業者に対して、業務内容が市民から市役所への問い合わせであるという認識をさせた上で、誠意と責任を持って業務を遂行するように、委託を行いたい。体制整備に関しては、現場で困らないように、ル

ルを作っていく。システム基本検討作業支援委託料

委員 検討する具体的な内容はどのようなものか。

担当者 今回の検討については、住基システムが立ち上がったから、一五年位経過しており、その更正のため、新しく入れ替えることについての検討である。サーバー式のシステムといった現代に合ったシステムに切り替えていくものである。また、市全体の基幹的なシステムであることから、今回検討を行わないと、他のシステムへの影響も出てくるため、来年度を目途に、三年以内には更正したい。

災害対策費

委員 今回の補正は、都と

文教生活

町田市民ホール条例の全部改正

委員 利用料金の減免もしくは減額が、条例になぜないのか。

担当者 利用料金制を採用した場合、施設の使用目的によって減免規定を設けなくともよいということから、市民ホールの目的に照らして、減免の規定を置かないと判断

しました。

委員 利用者の意見や声の集約は、市が行うのか。

担当者 利用者の声については、まず、指定管理者に出していただき、市の施策部分があるので、市の担当でも受けるといった二段構えで考えています。四半期ごとに、指定管理者と、その状況について打ち合わせをして管理していく方法を考えています。

町田市体育施設条例の全部改正

委員 指定管理者の評価のポイントや基準をどう定めるのか。

担当者 公平性は保たれているかといったことを含めて、評価していかねばならないと考えます。評価の基準は、団体の安定性、事業運営の継

続性や団体運営の透明性、条例を含めた法令等の遵守、職員の育成、利用者への対応や苦情の対応、安全安心の災害等への対応が評価の対象になるのではないかと考えます。

委員 現行運営を下回るものがないサービスを提供するための具体的な考えは。

担当者 指定管理者に対し、施設維持管理の基準や、事業を実施する基準等の「業務標準」を定めます。経費やリスクといった細かな部分については「協定」を結びます。従来の事業をどう継承発展させるかは、この業務標準や協定の中で、定めていく予定です。

教育研究費

委員 研修奨励費補助金の内容は。

担当者 都の情報モラル教

保健福祉

の合同総合防災訓練に伴う予算の増額補正で、約二〇〇万円が計上されているが、都の予算負担はどの程度なのか。

町田市大賀藤緑館条例の一部改正

委員 第一〇条第三項で「現指定管理者が藤緑館の設置の目的を最も効果的に達成することができると認められるときは、現指定管理者を指定管理者の候補者に選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定することができる」とをわざわざ載せた理由は何か。

担当者 指定期間満了の際、現指定管理者が施設の設置の目的を最も効果的に達成することができると認める場合には、現指定管理者を新たな指定管理者に指定する方法をとることも選択肢の一つとなり得ることを確認的に規定したわけです。優秀な実績を残すことで再度指定を受けられる可能性を規定していくことで、

指定管理者の意欲を引き出し、住民サービスの向上と経費節減のより効果的な達成と事業の安定性、継続性の確保をねらった規定でもあります。

町田市フォトサロン条例の一部改正

委員 条例の中に障がい者の施設に委託していくなどがよみとれるか。

担当者 条例に記述はありませんが、設立当初から心身障がい者の方が通所する施設というところの中で管理運営の業務を行っており、指定管理者制度導入後も協定書等々で十分担保していきたい。

成年後見制度推進費

委員 成年後見制度の所管を変えた理由は何か。

委員 市の姿勢は、今後もハード交付金を活用して保育園を整備していく方向か。

担当者 財源措置の問題は残りますが、認可保育所の建設は民間の活力を活用させていただきながら対応を図っていく方向になるのかと考えています。今年度は、緊急避難的に対応させていただいていますが、今後、財源措置は東京都に強く求めていきます。

都市環境

育実践モデル校の募集に応じたものです。すでに木曽中学校で研究しており、指定を受ける受けないに関わらず、年度当初から実践しています。そこに改めて都の補助金がついたものです。内容は、講演と、犯罪に巻き込まれないためにどうしていけばいいかという授業を改善していくための研究を行っています。

町田市民農園条例の一部改正

委員 市民農園は市が直営で行うより、地権者の方や農家の方に行ってもらったほうがその人たちの刺激策になるのではないのか。

担当者 今国会において特定農地貸付法の改正があげられており、改正後は、一般企業やNPO、農業者個人も市民農園を開設できるようになります。市民農園が個人的に開設できることを指導しながら、今後はそちらの方向へ持っていくと考えています。

町田市原町田一丁自動車駐車場に関する条例の一部改正

委員 指定管理者制度に移行することにしたが、今後直営に戻すという考えはないのか。

営に戻すという考えはないか。

担当者 現段階では直営で行うメリットが余り生じないと思われるため、指定管理者制度に移行したいと思っています。

委員 指定管理者制度の選定基準はどのようなものか。

担当者 これまでの実績や管理業務に相当の知識を持っているなど、その業務の管理運営が効率的、効果的に行えるようなことを基準にしていきたいと思っています。

塵芥収集費

委員 集積所パトロール委託料について、どこに委託し、何名くらいにどのような内容を行わせるのか。

担当者 シルバー人材センターに委託を行い、一組が二名の五組を予定しています。委託内容は、集積所にいる人なものが出されるので、注意を促しながら適正なごみの処理、出し方について啓発活動というような形を考え、集積所を巡回、あるいは一定の時間とどまって状況の把握を行います。

ごみ減量対策費

委員 なぜ商標登録を行うのか。

担当者 指定のごみ袋が金券と同じ扱いになるため、市で使用しているキャラクターのワケ丸を商標登録し、それを指定のごみ袋に刷り込み偽造防止を行うためです。

委員 ごみ有料化コールセンターはいつまでに準備されるのか。

担当者 開設期間は九月一二日から十一月いっぱいまでです。